

2023年度事業計画

(2023年4月1日から2024年3月31日)

我が国は国民一人当たりの鶏卵消費量が世界第2位の消費大国である。しかし、3年間に亘り新型コロナウイルスが猛威を振るい、人の移動や経済活動が制限されたため鶏卵の消費が大きく減少した。また高病原性鳥インフルエンザがかつてない規模で広範囲に発生し、採卵鶏の1割以上が殺処分されるという非常事態となった。そのため需要と供給のバランスが大きく崩れ、飼料の高騰と併せて現在は社会問題と言って良いほどの影響が出ている。このような向かい風の中にある鶏卵産業界ではあるが、今後の展開に不可欠なHACCP等安全性への取り組みや、消費者に対する鶏卵の正しい知識の啓蒙が益々重要となっている。そのため2023年度事業計画は次の通りとする。

(1) HACCP関連事業の推進

鶏卵の製造工程管理による安全・安心を確保するため2013年にGPセンターHACCP認証団体を立ち上げ、認証事業を開始したが、認証を受けたGP数も49施設と増加した。2023年度も継続して拡充を図る。

- 1) HACCPに沿った衛生管理の実施が全てのGPに求められているため、HACCP手引書の周知を図る。

(2) タマリエ検定の充実及び普及

タマリエ検定を開始して14年目を迎える。一ツ星、三ツ星、五ツ星タマリエと多くの合格者を輩出しているが、特に三ツ星タマリエ検定は身近で鶏卵の正しい知識普及に貢献しているため、本年度も農林水産省の後援の下検定を開催する、東京会場(6月)、大阪会場(10月)、九州会場(11月)の予定。又、プロ中のプロを合格者としている五ツ星タマリエ検定も実施する。(現在合格者9名、一次選考5月、二次選考7月)

(3) ヤングミーティングによる知識啓発情報発信事業

1) たまごニコニコ大作戦の拡大

- たまごニコニコ料理甲子園の実施

これからの食を担う高校生を対象に、いいたまごの日「たまごニコニコ料理甲子園」を開催し、たまごの素晴らしさを若い世代

に伝える。

- 鶏卵の正しい知識普及活動
農水省主催 F C P（フード・コミュニケーション・プロジェクト）等に参画。

(4) 畜産物輸出協議会 鶏卵輸出部会への参画

世界一安全・安心な国産鶏卵の輸出を促進し、鶏卵産業の継続的な発展に寄与する。

(5) 見学研修会・講演会の開催

(6) 同業他団体と消費拡大、安全・安心への取り組み、鶏卵の正しい知識の普及・啓蒙を図る。

- たまご知識普及会議への参画。
- 「オムレツの会」オムレツの日の記念イベントへの参画
- 中央鶏卵規格取引協議会の市販鶏卵の品質検査への参画
- 「いいたまごの日」への取り組み
- 鶏卵公正取引協議会への参画

(7) その他鶏卵に関わる事業